

FEEL KYOTO PERFORMANCE
劇団子供鉅人 kumagusuku公演 vol.3

『IN THE ROOM』

【構成・演出】 益山貴司

公演企画書

2018年3月20日(火)、21日(祝水)

京都四条大宮、京町屋を改装した実際のホステルを舞台に繰り広げられる、
劇団子供鉅人による観客参加型ツアー演劇。大好評の第三弾が開催決定！！



お問い合わせ先：contact@kodomokyojin.com
080-1433-5233 (制作 倉本)

<http://www.kodomokyojin.com>

路地裏のホステルの部屋にこもる宿泊客たちはみな、
それぞれにそれぞれの理由を抱え、
ベッドやソファで悲劇や喜劇を繰り広げていた。
一夜を共にしてしまった上司と部下、
スパイを監視する探偵、
湯船にを使って海水浴を夢みる男……。

IN THE ROOM

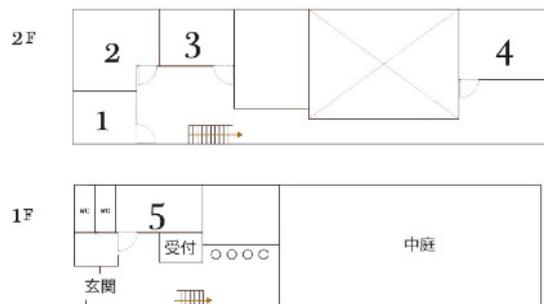
五つの部屋で演じられる、五つの物語。

劇団子供鉅人が贈る、夢見がちなツアー演劇。

京都四条大宮、京町屋を改装したアートホステルkumagusukuで繰り広げられる、劇団子供鉅人による観客参加型ツアー式演劇公演。

好評を得ての三年目、第三弾。

参加者は実際の五つの部屋（物語）をランダムに訪れ、想像力で一本につないでいく。



【公演概要】

実際のホステルを舞台に繰り広げられる観客参加型ツアー演劇の第三弾。観客は5名一組のグループに別れ、事前に渡された会場の地図を元に五つの部屋を訪れる。部屋の中では俳優たちによる短い演劇作品が上演される。観客は脈絡のない順番で鑑賞しながら、各自の想像力を使って一本の物語を紡ぐことができる。巡覧後、ギャラリーでもある中庭で全出演者による「大団円作品」も上演する二部構成。今年で三年目となる本公演は毎年売り切れ満員となる人気企画であり、劇場とは違う形で演劇を上演する実験の場でもある。

大阪で旗揚げし、現在は東京を拠点とする劇団子供鉅人が主催。構成、演出には代表である益山貴司があたり、劇団員と共に「場所が持つ物語」を念頭に、即興を交えて作品のクリエイションを行う。また、会場となるのは京都大宮で元旅館を改装し、アートホステルとして運営されているkumagusuku。音楽には京都で活躍するミュージシャン宮田あずみが参加。中庭（ギャラリー）を舞台にした第二部の上演では、kumagusukuのオーナーでもある現代美術作家の矢津吉隆が美術を担当。京都造形大の学生もサポートスタッフとして加わるなど、演劇のみならず様々なジャンルの人々がクロスする公演でもある。

【公演データ】

【出演】 益山寛司、影山徹、億なつき、ミネユキ、益山U☆G、地道元春、古野陽大、益山貴司

【音楽】 宮田あずみ（コントラバス 他）

【美術】 矢津吉隆（現代美術作家／kumagusukuオーナー）

【日程】 2018年 3月 20日（火） ①16：00- ②19：30-
21日（祝・水） ③14：00- ④17：30 ★

★終演後、キャッシュオン形式によるアフターパーティー有
// 各回 25名様限定 要予約 // ※受付・開場は開演の30分前

【料金】 一般 ¥2,500（with 1 drink）
学生 ¥1,500（with 1 drink）※要学生証、各回5名限定、先着順

【予約】 <http://goo.gl/h6eF6x>

【お問い合わせ】 contact@kodomokyojin.com

【会場】 京都四条大宮 KYOTO ART HOSTEL kumagusuku（クマグスク）
京都市中京区壬生馬場37-3 阪急「大宮駅」から徒歩 約5分

【主催】 劇団子供鉅人 FEEL KYOTO

【共催】 KYOTO ART HOSTEL kumagusuku

【後援】 京都府

【協力】 シバイエンジン

【制作企画】 劇団子供鉅人 シタテヒロコ

【劇団子供鉅人について】

05年益山貴司・寛司兄弟を中心に大阪で結成。

「子供のようで鉅人、鉅人のようで子供」の略。

関西タテノリ系のテンションと 骨太な物語の合わせ技イッポン劇団。団内公用語関西弁。

人間存在のばかばかしさやもどかしさをシュールでファンタジックな設定で練り上げ、黒い笑いをまぶして焼き上げる。

生バンドとの音楽劇から4畳半の会話劇までジャンルを幅広く横断。

3度に及ぶ欧州ツアーやF/T13参加。

CoRich舞台芸術まつり!2012準優勝。

関西でほんとに面白い芝居を選ぶ「関西ベストアクト」二期連続一位など勢力拡大中。

【これまでのツアー演劇】

「コノハナアドベンチャー2」(2013)



大阪此花区の空き家を数件使って上演された作品。町を一つまるまる巡りながら、町の未来と過去を往き来するSF物語。

「クルージングアドベンチャー3」(2014)

大阪城界隈の川をタイムマシンに見立てた20人乗りの船で遊覧しながら、演劇を楽しむ作品。川沿いのビルや船着場を舞台とした。



前田文化×劇団子供鉅人「文化住宅解体公演」(2016)



大阪茨城にある実際の文化住宅(アパート)を、観客と共に解体しながら物語が進んでいく演劇史上初の試み。最後はユンボまで登場した。